

令和3年度「下水道事業に関するアンケート（～かけがえのない環境を未来へ～）」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q14の「下水道の広報活動に興味のあるもの」に対する回答において「イ 水再生センターの見学会」が63.9%、「ウ 工事現場や雨水幹線などを見学会」が45.2%と回答された方が多かったことから、体験型の広報に関心を寄せていただいていることがわかりました。また、Q15の「下水道事業を広報するうえで適している媒体」に対する回答において、「ア 広報よこはまなど市が発行する各戸配布の広報紙」が82.5%と回答の多くを占めました。今回の結果を参考にしながら、見学会などの機会や「広報よこはま」などの媒体を活用し、効果的な下水道広報を展開していきます。

2 アンケートを実施した感想

Q12「下水道に対してどのような印象をお持ちですか」に対する回答において、「ア 重要なインフラであり興味がある」が76.3%であったことから、多くの皆様に下水道事業に関心を持っていただいていることがわかりました。また、Q5の「下水道事業で知っている取組」に対する回答において、「ア 下水道施設の維持管理と老朽化対策」が90.4%と最も高く、「イ 浸水対策」、「ウ 地震対策」、「オ 水質改善などの良好な水環境づくり」も50%以上であったことから、多くの方に下水道の重要な取組を理解いただいていることが確認できました。いただいたご意見を参考にしながら、皆様に下水道事業の取組についてさらに発信していきます。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

アンケート回答にご協力いただき、ありがとうございました。

情報をお伝えするために適した広報媒体や下水道事業への認知状況など、様々なお回答をいただくことができました。横浜市に近代下水道が初めて導入されてから150年が経過しました。この機会に市民の皆様が下水道の役割をしっかりとお伝えするため、施設見学会やイベントなどを行いますので、ぜひご参加ください。

担当：環境創造局下水道事業マネジメント課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。